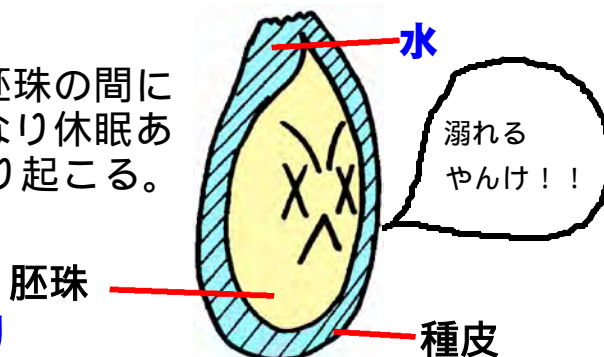


# □ 種子の**安定発芽**について

種皮の著しく堅い種子や、乾熱殺菌済の種子は、急激な吸水による発芽遅延や、また吸水不足での発芽開始による奇形子葉、皮かむり（種かつぎ）を生じることがあります。

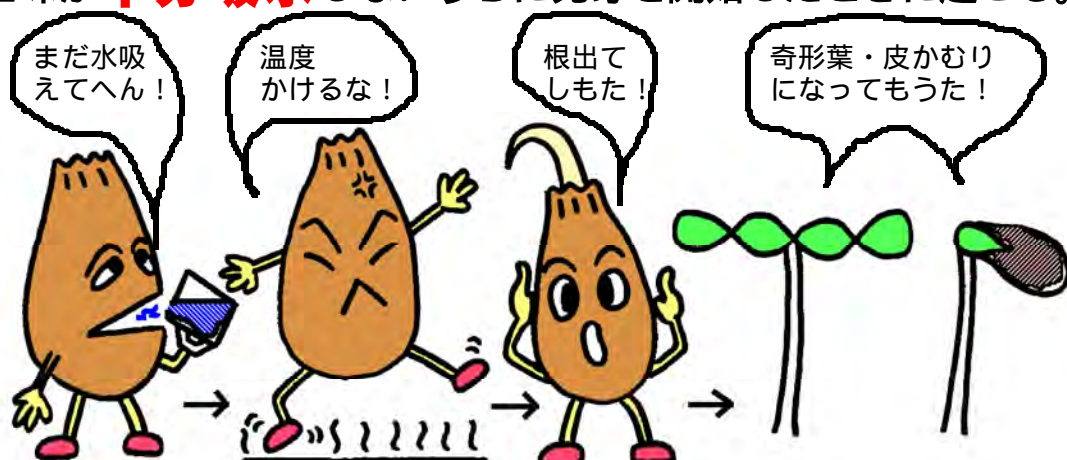
## 発芽遅延・不発芽

急激な吸水により種皮と胚珠の間に水が溜まり、**窒息状態**となり休眠あるいは腐敗することにより起こる。



## 奇形子葉・皮かむり

胚珠が**十分吸水**しないうちに発芽を開始したときに起こる。



**発芽遅延と奇形子葉・皮かむりは同時に起こることが多い。**

## 対策

過湿にならず、ゆっくりと、十分に吸水させ、種子そのものを発芽しやすい状態にしてやるのが大切。

1. 少し厚めの播種箱に、土を固めに鎮圧し、十分灌水し種子を空蒔き（浸水しない）し、乾いた土を覆土する。
2. 表面が乾燥しないように新聞紙で覆い、1日温床に入れず通路、又は野外に放置する。この間に胚珠が十分に中まで吸水し、余分な水分が抜ける。
3. 2日目から温度をかける。



ナント種苗(株)  
Tel 0744-22-3351